

【2020年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
解剖学 I (作業療法学科中心)		必修(作) 選択(福)	2	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
志茂 聡	C306	sshimo		水曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p>人体の構成単位である「細胞」・「組織」・「器官」・「個体」という成り立ちを説明することができる。器官系として「循環器系」「内蔵学(呼吸器系・消化器系・泌尿生殖器系)」「発生学」を学び、具体的な人体の構造と機能について、説明することができるようになるとともに、生命に対する畏敬の念を養うことを目的とする。①内臓の形態・構造および体内における位置について、②各器官の全体的な特徴を器官系に沿って説明する。さらに、③細胞がどのようにして集合して組織を構成するのか、講義形式とともに光学顕微鏡観察および電子顕微鏡像を用いて説明する。これらの内容について、課題学習等を通して理解するとともに、授業におけるメディア(Microsoft Teams)を利用した意見交換や、提出課題に対するフィードバックを活用して包括的な理解につなげる。</p>				
学習上の助言	<p>[事前学習について] 事前に各回の内容および課題について説明および試料配布を行うので、授業前に予習すること。 [事後学習について] 毎回の授業の終わりに自宅課題を提示するので、授業の内容を復習して取り組むこと。</p>				
教科書	解剖学 標準理学療法学・作業療法学(専門基礎)第4版/野村巖(編集)/医学書院/2017、プロメテウス解剖学 コア アトラス 第3版/監訳:坂井建雄/医学書院/2019				
参考書	解剖学アトラス/越智淳三(訳)/文光堂/2013、解剖学講義/伊藤隆著/南山堂/2014、標準組織学 総論・標準組織学 各論/藤田尚男・藤田恒夫/医学書院/2017				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	人体の構成単位である細胞、組織、器官、個体の成り立ちを説明することができる。			HSU(2)、OT (1)、(2)	
②	各器官(循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿生殖器系)の構造特徴を説明できる。			HSU(2)、OT (2)、(2)	
③	肉眼レベルから顕微鏡レベルでの形態と構造および機能との関連を説明できる。			HSU(2)、OT (2)、(2)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	細胞:細胞構成要素について基本的構造と機能を学ぶ。 細胞の形と配列による上皮組織の分類を学ぶ。 フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:メール等で随時実施	印刷教材等での授業	教科書で細胞の構成要素と上皮組織の分類を調べ、自宅課題シートにまとめる。	6	
2	組織:結合組織、筋組織の特徴と機能について学ぶ。 神経細胞の構成要素について学ぶ。 フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:メール等で随時実施	印刷教材等での授業	教科書で結合組織、筋組織、神経組織の特徴と機能を調べ、自宅課題シートにまとめる。	6	
3	循環器系 1:体循環と肺循環の違いについて学ぶ。 心臓壁の構造と心室と心房の形態的特徴を学ぶ。 フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:メール等で随時実施	印刷教材等での授業	教科書で心臓の構造と機能を調べ、自宅課題シートにまとめる。	6	
4	循環器系 2:動脈の基本的構造について学ぶ。 大動脈と分枝した全身の動脈系の分布を学ぶ。 フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:メール等で随時実施	印刷教材等での授業	教科書で動脈の構造と全身の動脈系の分布を調べ、自宅課題シートにまとめる。	6	
5	循環器系 3:静脈の基本的構造について学ぶ。 皮静脈・門脈・奇静脈など静脈系固有の循環系を学ぶ。 フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:メール等で随時実施	印刷教材等での授業	教科書で静脈の構造(弁など)と全身の静脈系の分布を調べ、自宅課題シートにまとめる。	6	
6	循環器系 4:リンパ系を血管系と比較して学ぶ。 胎生期の循環と出生後の循環器系の変化について学ぶ。 フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:メール等で随時実施	印刷教材等での授業	教科書でリンパの構造と分布および胎児循環を調べ、自宅課題シートにまとめる。	6	
7	消化器系 1:嚥下に関与する構造体および胃や腸の特徴と機能について学ぶ。 フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:メール等で随時実施	印刷教材等での授業	教科書で消化器の構造と機能を調べ、自宅課題シートにまとめる。	6	

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

8	消化器系 2: 肝臓および膵臓の機能および腹腔内における位置関係について学ぶ。 フィードバック: 授業時間内に実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書で肝臓および膵臓の構造と機能を調べ、課題シートにまとめる。	4
9	呼吸器系: 発声に関与する喉頭とガス交換に関与する肺について学ぶ。 フィードバック: 授業時間内に実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書で呼吸器系の構造と機能を調べ、課題シートにまとめる。	4
10	泌尿器系: 腎臓および排尿に関する組織(尿管、膀胱、尿道)の基本的構造と機能について学ぶ。 フィードバック: 授業時間内に実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書で泌尿器系の構造と機能を調べ、課題シートにまとめる。	4
11	生殖器系: 精子形成から射精または、排卵から着床に関与する組織の基本構造と機能について学ぶ。 内分泌系: 各内分泌腺の特徴とホルモンについて学ぶ。 フィードバック: 授業時間内に実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書で生殖器系の構造と機能を調べ、課題シートにまとめる。内分泌系器管をまとめる。	4
12	発生学: 胚子期および胎児期における主要な形態変化を理解し、各器官への外・中・内胚葉の分化について学ぶ。 フィードバック: 授業時間内に実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書で三胚葉から各器官への分化について調べ、課題シートにまとめる。	4
13	組織各論 1: 顕微鏡による組織標本観察(骨組織、筋組織) フィードバック: 授業時間内に実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書を参考にしてステオン、骨格筋のスケッチを課題シートにまとめる。	4
14	組織各論 2: 顕微鏡による組織標本観察(泌尿生殖器系、消化器系) フィードバック: 授業時間内に実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書を参考にして腎小体のスケッチを課題シートにまとめる。	4
15	これまでの学習の総括 フィードバック: 授業時間内に実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	試験範囲の内容を教科書と課題シートを使って確認する。	4
試	定期試験 達成度評価 評価のポイント参照			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	40	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	60	15	0	0	0	75
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	5	0	0	0	5
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント

評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
	①	②		
試験	①	✓	学期末には定期試験を実施して評価する。評価割合は 60%とする。 試験では授業に取り組んだ課題プリントおよび Web 上で行った小テストの内容に基づく問題を出題し、理解度を問う。	試験の添削・返却・解説をおこなう。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①	✓	授業に対応した課題を、各授業後に提示する。評価割合は 40%とする。	自宅課題シートの添削・返却をおこなう。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

成果発表	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
その他	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
備 考			
<p><b>教員の実務経験：</b>担当教員は、解剖学で博士号（医学、山梨大学）を取得しており、本学（専任教員）および山梨大学医学部解剖学講座構造生物学教室（非常勤講師 令和 2 年現在）にて長年解剖学の教育に携わってきた解剖学教育の専門家である。作業療法士免許を有し、実務経験は 10 年である。</p> <p><b>実践的授業の内容：</b>解剖学における人体の構造に関わる項目の概念は、書物や視聴覚教材によって理解できると思うが、臨床時に応用できるまでの確固たる知識やイメージを獲得しにくい部分が多々ある。この授業では、実際に人体解剖に携わってきた教員により、経験に基づく様々な視点から人体の構造についての具体的な解説がなされるため、やがて臨床家となる受講者にとっては実際に即した知識を獲得でき、受講者の疑問への対応を通して、より実践的な教育を受けることができる。また、事前事後学習（自宅含む）として、各回の内容に沿った課題を web 上で確認できるようにしている。</p> <p>Teams を使って遠隔授業を行います。          課題ダウンロード等がありますので、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意して下さい。          今後の社会情勢によって再度シラバスの変更があり得ます。</p>			